



常世の国 筑波嶺翔ける 文化のいぶき

常世の国こくぶん祭

※第23回国民文化祭・いばらき2008

平成20年11月1日(土)～9日(日)

「アースワーク土舞台・人形浄瑠璃2008」 「女夫松菟玖波曙」の制作発表

今秋11月8日(土)、国史跡真壁城跡で開催される「アースワーク土舞台・人形浄瑠璃2008」女夫松菟玖波曙」の制作発表と公開稽古が、社会体育研修センターで行われました。

制作発表には、(財)文楽協会技芸員で人形振付監修者の吉田和生氏も出席。土舞台制作委員会(出町光識代表)、人形浄瑠璃真壁白井座(演出家・小倉馨)、NPO法人自然生クラブ(柳瀬敬代表)のみなさんが、国民文化祭公演にむけた熱い思いを語りました。

この事業は、筑波山を借景に、文化財である真壁城跡をとりまく自然の景観を生かし、地元の小中学生や知的・身体障害者のみなさんがひとつになつて、土舞台を上演する創作芸術で、県内でも注目されるプログラムの一つ。土舞台は、地元の粘土と砂を混ぜて固め、相撲の土俵のよ

うに造られます。演目の「女夫松菟玖波曙」は、筑波山の唄歌伝説と松島瑞巖寺の中興祖法身性西禅師(真壁平四郎)の出世譚をもとに創作したオリジナル浄瑠璃です。

にぎやかなアートフェスティバルをお楽しみに。



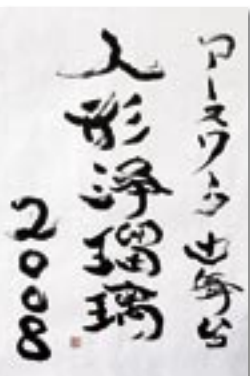
「アースワーク土舞台・人形浄瑠璃2008」女夫松菟玖波曙」の制作発表の様相

菊池聡氏がタイトル書を担当

常陸大宮市にお住まいの菊池聡氏にタイトル書を担当していただきました。菊池さんは、中学生の時、書道の授業で自分が上手いと思わない字を「面白い」と先生がほめてくれたことで「自分のそのままの字を書くこと」を信念に、以来本格的に書に取り組み、県立図書館などで個展を開催。左手で書く命みなぎる書に共鳴・感動するファンがたくさんいます。



左手でタイトル書を作成中の菊池聡氏



菊池氏の手で命みなぎる書に仕上がったタイトル

吉田和生先生による公開稽古

これまで、浄瑠璃と三味線でご紹介してきた「女夫松菟玖波曙」に、人形部門が加わり国民文化祭で人形浄瑠璃として初公演いたします。

まずは、座員一人ひとりが床本(台本)を読み取り、役づくり。それを人形に伝えて物語を演じます。プロの吉田先生のきめ細やかなアドバイスをいただきながら、人形を動かす稽古にも力が入りました。

吉田先生は「一生懸命やってみて楽しんで、お客に喜んでもらえる舞台にしてほしい。」と話していました。



吉田先生(写真右側)から、恋人たち(写真人形)の感情表現の指導を受ける真壁白井座のみなさん

サッシ 室内建具 ガラス シャッター など

住まいの事ならお気軽にどうぞ!

株式会社 長岡屋

TEL 0296(55)3443(代)

節句人形製造問屋 **和久井人形店**

破魔弓・羽子板・ひな人形・鯉のぼり・五月人形・盆提灯 他各種

桜川市西桜川1-26

TEL.0296-75-2375

FAX.0296-76-0950

朝8時から夜7時まで 営業致しております